２０１８年度　早稲田大学大学院文学研究科　入学試験問題

【修士課程】　**専門科目**　**教育学**　コース　※解答は別紙（縦・横書）

【問題Ａ】次の６題から１題を選んで、所定の解答用紙に１５００字以内で解答しなさい。（答案には選んだ問題の番号を明記すること）

1 以下に掲げるのは、大きな影響を及ぼしたある人物がその著作において提示した「教育の専門的定義」である。その人物が誰であるかを指摘したうえで、その教育思想について記しなさい。

「教育とは、経験の意味を増加させ、その後の経験の進路を方向づける能力を高めるように経験を改造ないし再組織することである。」

2 現在進行中の高大接続改革は、「大学入学者選抜の在り方のみが議論されているわけではなく、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の在り方を一体的に改革していこうとするものであることに留意が必要である」（２０１６年１２月２１日中央教育審議会答申）とされている。「一体的な改革」がなぜ必要とされているのか、①歴史的背景、②現状の課題、③将来展望の３点から論じなさい。なお、解答にあたって①②③という番号を記入する必要はない。

3 国連・子どもの権利条約第１９条では、締約国は、「あらゆる形態の身体的または精神的な暴力」すなわち体罰などから、「子どもを保護するためにあらゆる適当な立法上の措置をとる。」と定められています。これを受けて世界では、５０か国をこえる締約国が、「全面的な体罰禁止法」を制定してきました。しかし、条約を批准している日本では、この条文を受けた体罰全面禁止法の制定に至っていません。制定のためには、何が課題になっているのか。基本的な課題を一つとりあげて論じなさい。

4 日本の小学校を学級数別学校規模でみると、長年、各地で学校統廃合が進められてきたとはいえ、１学年１学級以下の小規模校が、まだ全体の２割以上を占める。大都市を含む首都圏、阪神圏などでは小規模校はきわめて少ないが、農山村や離島を多く抱える地方県で小規模校の占める割合はおおむね３割を超え、４～６割と非常に高い県もある。東日本大震災と原発事故後の被災・避難自治体にあっては、たとえ学校が小規模化しても、避難先で再開されてきた。

こうした小規模校（小さな学校）が地域社会において存続することの意義は大きい。どのような意義があるのか、考えるところを述べなさい。

5 現代的・社会的課題に対応した学習機会の質的向上やライフステージに応じた生涯学習の充実が求められている。あなたが検討すべきと考える領域や対象を、人権、ジェンダー、地域づくり、経済格差、グローバル化、子ども・若者、成人、高齢者、家庭教育、職業教育等の中から選んで具体的に示しながら、現代の社会教育、生涯学習の課題や推進の方策を述べなさい。

6 国際理解教育の目標を踏まえつつ、アートのもつ意味について論じなさい。

【問題Ｂ】以下の１０項目から４項目を選び、それぞれの教育用語について、所定の解答用紙に４００字以内で、解説しなさい。（答案には選んだ問題の番号を明記すること）

（１）大正新教育運動
（２）生活綴方
（３）教育委員会教育長
（４）義務教育費国庫負担法
（５）いじめ防止対策推進法
（６）学歴インフレーション
（７）*Émile, ou De l'éducation, 1762*
（８）O.F.Bollnow（1903～1991）
（９）ＥＳＤ（Education for Sustainable Development）
（１０）OJT・Off-JT

（以下余白）

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

教育学

総　点

問題A

―――ここから記入すること―――

（裏へ続く）

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

（次頁へ続く）

———ここから記入すること———

1500字

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

教育学

総　点

問題B

――ここから記入すること――

400字

（裏へ続く）

400字

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

（次頁へ続く）

———ここから記入すること———

400字

(裏へ続く)

400字

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———